

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 2 月 24 日

事業所名 スポーツコミュニケーションスクール カラフル・金沢 西倉校

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	✓			レイアウトを随時見直している。 様々な活動に合わせた環境設定を行っている。 利用人数が多い場合は時間をずらしている。	利用者の相性や活動内容によるレイアウトの工夫など行っていきたい。
	2 職員の配置数は適切である	✓			集団のプログラムを提供しているが、個別での対応も意識して配置している。	専門的で利用者に応じたきめ細やかな支援のため、今後も募集はしていきたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	✓			事業所内では、活動時間を書き出す、イラストや写真を使って次の行動が目で見えてわかるように工夫している。	目で見てわかる動線を意識していく。また、事業所がビルの2階のためバリアフリー化されていないのが現状。必要な場合は職員が階段の上り下りを補助し、安全に配慮していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	✓			毎月のミーティングや研修を行っている。	PDCAを心掛け、月に1度のスタッフミーティングを行っている。毎日の申し送りでも共有している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	✓			適宜アンケートをとり、保護者からの意見を参考にさせていただいている。	今回の保護者向け評価表も活用し、今後も以降の把握に努めていきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	✓				ホームページにて公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			✓		現在は利用者と社内の評価のみになっているが、今後必要に応じて実施を検討していく。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	✓			各種研修には積極的に参加している。	外部研修のほか、事業所内での研修も実施し参加していく。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	✓			保護者の方に伺い作成している。	契約時や送迎時に利用者の様子を共有したり、ご希望などを伺っている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	✓			同系列の他事業所と同じ形式で行っている。	他事業所とも相談し、随時アセスメント票の見直しを行っていく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	✓			毎月スタッフの担当者が検討し共有している。	保護者からの要望も取り入れながら、随時検討していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	✓			年度でテーマを決め、内容は毎月検討している。	保護者からの要望も取り入れながら、随時検討していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	✓			利用時間に合わせて課題を設定している。	長期休暇については時間が長いからこそできる活動(おでかけ、調理など)を設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	✓				利用児童の希望や特性も考慮しながら計画書を作成していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	✓			前日の申し送りや当日の役割分担などを確認するミーティングを行っている。	勤務時間との兼ね合いもあり、翌日に抜けがないように打ち合わせを行っていく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	✓			終了後に打ち合わせは行っており、翌日のミーティングで行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	✓			業務の記録をとっている。	日々の記録は行っているがまだまだ支援での改善は必要と思われるため検討していきたい。
関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	✓			モニタリングを行い支援会議を行っている。	半年に1度モニタリングと支援会議を行い、個別支援計画書の見直しなどを検討している。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	✓			ガイドラインを確認している。	基本的なことを把握しながら特色を出していけ量に支援したい。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	✓				開催される場合には児童発達支援管理責任者等の適任者が出席している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	✓			タイミングが合えば、送迎時などに当日のご様子を共有させていただいている。	基本的には保護者を通して行っているが、当日の体調や送迎時間の確認などはその都度共有している。担当者会議でも情報共有している。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当者はいない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		✓		該当者はいない。	現在該当者はいないが、今後相談支援専門員を介して、情報の共有を行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		✓		該当者はいない。	現在該当者はいないが、今後相談支援専門員を介して、情報の共有を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	✓			石川県療育センターの助言を受け、児童との関わりについて学んだ。	今後も積極的に研修に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			✓	機会は無い。	今後は各種イベントなどを企画し、地域での活動にも力を入れていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	✓				3月にある連絡会に参加予定。今後定期的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	✓			保護者とのやりとりは行っている。	モニタリングの面談の他、送迎時に児童の様子について共有している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			✓	保護者支援は行っていない。	今後保護者から対応力について質問があった際、どうするか検討していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	✓				契約時に説明し、随時不明な点は職員が説明するようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	✓			相談には対応している。	送迎時や面談時に相談を受けることがあり、お話はさせていただいている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			✓		来年度から取り組みを行う予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	✓			苦情対応窓口はある。	苦情やご意見があった際は迅速かつ適切に対応するように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	✓				活動予定や活動報告を会報でお知らせしている。公式ラインを導入し情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意している	✓				個人情報のファイルなどは鍵付きの棚で管理している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	✓			児童や保護者の状態に合わせて対応をしている。	事前に保護者や関係者と情報伝達方法を話し合い、職員間で共有している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			✓	他事業所との合同イベントを行った。	今年度は感染拡大防止のためあまり積極的に開催できなかったが、今後は地域の中の事業所として可能な形で開かれた事業運営に努めていく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	✓			緊急時対応マニュアル、感染症マニュアルは策定している。	各種マニュアルは策定しているが、保護者にむけて行っていないので、今後は周知を図っていく。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	✓			年2回避難訓練を行っている。	年2回避難訓練を行うよう年間スケジュールに入れている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	✓			事業所内での虐待防止委員会主催の研修会を行っている。	事業所内、外共に積極的に研修に参加し職員間で共有している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	✓			身体拘束があり得る場合は計画に記載することになっている。	多動の方で危険が伴う場合には計画に盛り込むようにしているが、現在対象児童はいない。対象児童がいる場合には組織的に対応を検討し、支援計画に記載する体制にしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			✓	保護者からの情報を基に対応している。	アセスメントや保護者の方からの情報を基におやつやクッキングなどの対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	✓			ヒヤリハット行っている。	事例集になるほど事例ができていないが、今後も行っていく。